科目名			担当教員	
医学一般			石井　誠一・澤田　さやか	
科目コード	科目単位	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CC3079	2	1	RorSR (講義)	2年以上
生成AI利用レベル		レポート　：　B	試験（スクーリング含む）　：　B	

※スクーリングを別教員が担当いたします（井手貴治先生）。

科目の概要

■科目の内容

日本人の死因は、食生活や運動、嗜好など、日常生活上の不健康な生活習慣の積み重ねによる生活習慣病と深くかかわっています。また、加齢に伴う生理機能の低下は、疾病を生じやすくします。

社会福祉に従事する人にとって、医療の基礎的な知識を持つことは不可欠ですが、私たちがより健康的に生活する上でも、人体や老化、疾病などについて理解することは大切です。福祉関係職種に従事することを目指している人は、利用者の医療を一緒に考えることができるように心がけて学んでください。

本科目では、基本的な人体の構造と機能を理解した上で、直面する頻度の高い障害や疾病について医学的に理解します。学んだ知識を、日々の生活に生かせるような、応用がきく生きた勉強を心がけてください。

本科目は、予防対策や行政の取り組みなど、医療にかかわる広範囲な内容を含みますが、障害、リハビリテーション、国際生活機能分類（ICF）など、他の科目と重複する分野については、レポート課題には入れませんでした。しかし、非常に重要な分野ですので、教科書をしっかり読んでおいてください。予防対策や感染症、生活習慣病など、「公衆衛生学」と重複しますので、「公衆衛生学」のレポート課題を参照して、より深く学ぶことをお勧めします。

■到達目標

１）人体の主な器官の生理的機能について説明できる。加齢に伴う生理的機能の低下と、高齢者に多い疾患（慢性腎臓病、高血圧、誤嚥性肺炎など）との関連について説明できる。

２）免疫（特に液性免疫）や自律神経による身体の機能調節について説明できる。

３）大脳の機能と関連させて考え、認知症の中核症状と、主な原因疾患について説明できる。

４）生活習慣病および、生活習慣との関連について説明できる。主な生活習慣病について説明できる。メタボリック症候群と関連させて説明できる。日本人の死因と関連させて説明できる。

５）介護保険の特定疾病について説明できる。高齢者に多い神経疾患と精神疾患の特徴を説明できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「人と社会の理解力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 10%＋スクーリング評価 or 科目修了試験 90%

■教科書・参考図書

【教科書】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座［共通科目］1 医学概論』中央法規出版、2021 年

（最近の教科書変更時期）2023 年 4 月

（スクーリング時の教科書）

【各会場共通】上記教科書を使用します。旧教科書を所持している場合でも受講に支障がないよう資料などを配付します。

【参考図書】

１）辻一郎ほか著『シンプル衛生公衆衛生学 2023』南江堂、2023 年
２）『NHK きょうの健康』月刊誌 NHK 出版
３）岡田靖著『別冊 NHK 今日の健康・脳梗塞の再発を防ぐ』NHK 出版、2022 年
４）繁田雅弘著『別冊 NHK 今日の健康・家族のための認知症ケア』NHK 出版、2021 年
５）富野康日巳著『別冊 NHK 今日の健康・慢性腎臓病（CKD）』NHK 出版、2022 年
６）上妻謙監修『別冊 NHK 今日の健康・シニアの狭心症・心筋梗塞』NHK 出版、2020 年
７）田沼久美子ほか著『しくみと病気がわかるからだの辞典』成美堂出版、2007 年（3D ビジュアル DVD 付、2013 年）

スクーリング

■スクーリングで学んでほしいこと

社会福祉関連の職種で将来必要となる、正常な人体の基本的な構造と機能、身近な疾病（生活習慣病など）、高齢者の特徴と高齢者に多い疾患などについて理解することを学習目標とします。また、講義では国家試験問題やその類題の解説なども行う予定です。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	身体の成長・発達	身体と精神の成長と発達、老化
2	身体構造と心身の機能①	細胞と組織、水分と脱水、血液、循環、呼吸、消化
3	身体構造と心身の機能②	泌尿器、神経、内分泌、運動器、感覚器、免疫
4	疾病の概要	生活習慣病と未病、脳血管疾患、心疾患、糖尿病など
5	障害の概要	肢体不自由、内部障害、認知症など
6	リハビリテーション	リハビリとは、リハビリの諸段階、リハビリの 4 つの側面
7	健康のとらえ方	健康の概念、人口統計、高齢化と医療費、健康日本 21、感染症対策など
8	まとめ	
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

上記講義内容にそって、配付資料も用いながら、講義を進める。

■スクーリング　評価基準

スクーリング試験 100%（持込可）

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5〜10 時間）

事前に教科書に目を通して、用語に慣れておいてください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	ライフステージにおける心身の変化と健康課題（第 1 章）	ライフステージにおける心身の特徴について理解し、ライフステージ別の健康課題について考える。 キーワード：遺伝子と環境、加齢と老化、生理機能の加齢変化、老年症候群	胎児期から青年・中年期までの身体および精神の成長・発達の特徴を知り、遺伝子と環境による影響を考える。生理機能の加齢変化の特徴を知ることで、高齢者の特徴や高齢者が老年症候群に陥りやすいことを理解する。
2	健康および疾病のとらえ方（第 2 章）	健康の定義を学び、疾病と健康寿命について考える。国際生活機能分類（ICF）の基本的枠組みを学ぶ。 キーワード：ICF、健康状態、生活機能低下	国際生活機能分類（ICF）の基本的考え方と概要を学び、WHO による健康状態と障害の分類を理解する。
3	身体構造と心身機能①（第 3 章）	人体各部位の名称と、人体を構成する器官系と臓器の名称を学ぶ。 キーワード：心臓、肺、脳、腎臓	人体各部位の名称と、人体を構成する器官系と臓器の名称を学ぶ。キーワード：心臓、肺、脳、腎臓
4	身体構造と心身機能②（第 3 章）	人体を構成する器官系と臓器の機能（生理機能）を学ぶ。身体機能の調節について学ぶ。 キーワード：循環器系、呼吸器系、神経系、内分泌系、ホルモン、血液、免疫	医学の基礎用語、医学の基礎知識（人体の恒常性、身体機能の調節）を学ぶことで、健康状態や疾病を理解しやすくなる。
5	疾病と障害の成り立ちおよび回復過程（第 4 章）	疾病の発生原因を、大きく外的要因と内的要因に分類して考える。 キーワード：免疫反応、抗原、抗体	多くの疾病における発生原因と、さまざまな病因により起こる生体反応について学ぶ。
6	リハビリテーションの概要と範囲（第 5 章）	リハビリテーションと医療的リハビリテーションについて学ぶ。対象となる疾患・障害の概要を学ぶ。 キーワード：ADL、IADL、QOL、内部障害、高次脳機能障害、廃用症候群	リハビリテーションの概要を理解し、傷害の概要、リハビリテーションにおける障害評価について学ぶ。
7	疾病と障害①（第 6 章第 1 節）	主な感染症について学ぶ。 キーワード：新型コロナウイルス感染症、結核、日和見感染症、院内・施設内感染対策、ワクチン	感染症には、それぞれ症状だけでなく、感染経路、潜伏期間に特徴がある。さらに病原体の特性を知ることで感染予防対策を講じることができる。

8	疾病と障害②（第２節）	認知症の定義及び中核症状、行動・心理症状、代表的な認知症について学ぶ。難病、神経難病、脳機能性疾患について学ぶ。 キーワード：中枢神経、高次脳機能、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症	原因疾患により、認知症の症状が違うことを理解する。介護保険の特定疾病には、難病の特定疾患と重複している神経難病があるので、特に多いパーキンソン病などについて調べておくとよい。
9	疾病と障害③（第 3、4節）	脳血管疾患について学び、予防を考える。虚血性心疾患や高血圧などの心疾患について学ぶ。 キーワード：生活習慣病、脳出血、脳梗塞、狭心症、心筋梗塞、高血圧	日本人の死因の上位を占める脳血管疾患や虚血性心疾患は、生活習慣と深くかかわる生活習慣病の一つであり、生活習慣との関連や発症予防についても考えておこう。
10	疾病と障害④（第 5、6節）	内分泌器官からのホルモン分泌異常による代謝疾患について理解する。高齢者に多い肺疾患などの呼吸器疾患について理解する。 キーワード：糖尿病、糖尿病の合併症、脂質代謝異常、慢性閉塞性肺疾患	糖代謝異常による糖尿病と、その治療や合併症について学ぶ。脂質代謝異常、尿酸代謝異常などの代謝疾患について学ぶ。呼吸器疾患と生活習慣について考える。
11	疾病と障害⑤（第７、8、９節）	腎・泌尿器疾患について学ぶ。消化器・肝胆膵疾患について学ぶ。加齢に伴い増加する骨・関節疾患の特徴を理解する。 キーワード：慢性腎臓病、骨粗鬆症	急性腎障害、慢性腎臓病について理解する。高血糖だけでなく、加齢によっても腎機能が低下することを理解する。消化器系（肝臓など）の疾患（癌など）について学ぶ。
12	疾病と障害⑥（第 10、11、12、13 節）	血液・免疫・アレルギー疾患を学ぶ。加齢変化による眼科疾患と視覚障害について学ぶ。耳鼻咽喉疾患、聴覚障害、平衡機能障害口腔疾患について学ぶ。 キーワード：嚥下障害、誤嚥性肺炎	白血球やリンパ球は、免疫を担う重要な作用を持つが、過剰な免疫反応をおこし、食物アレルギーなどの原因となることを理解する。
13	疾病と障害⑦（第 14、15、16 節）	婦人科疾患と産科疾患について学ぶ。発達障害、精神疾患、精神障害について学ぶ。小児科疾患の特徴について学ぶ。 キーワード：発達障害、うつ病、統合失調症	子宮頸癌、子宮体癌などの定期検診について考える。先天性疾患の原因には、環境要因と遺伝的要因があることを理解する。
14	疾病と障害⑧（第 17、18、19 節）	高齢者に多い疾患について学ぶ。生活習慣病の病態と予防について学ぶ。内部障害の概要を学ぶ。悪性腫瘍と緩和ケアについて学ぶ。 キーワード：老化、老年症候群、廃用症候群、フレイル、フレイルサイクル、生活習慣病、メタボリックシンドローム、内部障害	加齢による生理的な機能の変化を学び、老年症候群との関連を理解する。内臓脂肪の過剰蓄積によって生じるメタボッリクシンドロームについて理解する。

15	公衆衛生（第７章）	公衆衛生の目的について理解する。予防医学について学び、公衆衛生の保健対策、疾病対策について理解する。 キーワード：介護保険、特定健康診査	疾病の予防対策の一次予防、二次予防、三次予防について理解する。

■レポート課題

１単位め	【説明型レポート】 下記①～⑥をすべて説明しなさい（各 300 字をめやすに。計 1,800 字以上 2,000 字程度）。 ① 生活習慣病の定義、および生活習慣との関連について説明せよ。特に、死因に関わる重大な生活習慣病（がん、心疾患、脳血管疾患、ただし全てが生活習慣病とは限らない）については、詳しく説明せよ。 ② 腎臓の機能について述べよ。慢性腎臓病（CKD）についても考察しておくこと。 ③ 認知症の定義、および主な原因疾患（複数）とその特徴について説明せよ。 ④ 感染症、および感染症予防について説明せよ。COVID-19（新型コロナウイルス感染症）やワクチン、免疫などと関連させて考えるとなお良い。 ⑤ 糖尿病、およびその合併症について説明せよ。 ⑥ パーキンソン病について説明せよ。
２単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

注意 ⑴ 論述式の【説明型レポート】は年度により問題が異なり、問題文も長いので、レポート用紙の「課題」欄には、「2026 年度の問題に解答する」というように、課題の年度のみを記入し、問題文は記入しないでください。「解答欄」にも、問題の番号のみを記入し、問題文は記入しないでください。

⑵ 簡潔明瞭にまとめてください。定義を最初に記述し、詳細や例はその後に記述するとわかりやすくなります。

⑶ 教科書や文献をそのまま写すのではなく、自分自身の言葉で、要点をまとめなおしてください。

■アドバイス

本科目では、人体の構造と機能について学び、疾病や障害についての基本的な理解をします。慢性期や終末期の医療は、医療関係職種と、福祉関係職種とのチームアプローチによって、在宅で展開されることが多くなってきています。特に、福祉関係職種に従事することを目指している者は、利用者の医療を一緒に考えることができるように心がけて学んでください。

テキストを、まず一通り読んで、全体的に理解してから課題に取り組んでください。同じ疾病が何か所かに分かれて記載されていることがありますが、総合的に関連づけられるような学び方が大切です。

教科書は簡単に記述してあるため、理解し難いと感じる人も多いと思います。教科書では理解が不十分だと感じたら、高校の教科書を復習したり、他の文献で調べたりすることをお勧めします。

NHK 出版の『きょうの健康』は、新しい知識を得るのに良い雑誌です。

医療制度や介護保険制度、障害者福祉制度など、改正されることが多い制度については、新聞などのニュースに注意してふだんから学ぶ姿勢を心がけていてください。非アルツハイマー型高齢者タウオパチー、ロコモティブシンドローム、オーラル・フレイル、依存症（アルコール、スマホ、ニコチン、薬物、ギャンブルなど）など、最近話題になることの多い疾患にも関心を持って生活してください。

【1 単位めアドバイス】

人体を構成する心臓、脳、腎臓などの器官の働きを人体の生理機能といいます。人体の構造と機能は、老化や疾病を理解するための基礎知識として重要です。課題にないところも熟読しておいてください。老化について学ぶことは、高齢者の病気や病気予防を理解することにつながります。日本人の死因は、生活習慣と密接にかかわっています。悪しき生活習慣について認識することで、自らの生活を見つめ直すことも大切です。脳卒中などの重要な疾患は、症状の違いだけでなく、発症原因の違いについても理解しておいてください。加齢による機能低下が著しい腎臓は、生命を維持するための様々な機能を持っていることを学び、腎臓の機能が病的に低下しないよう役立てましょう。

【2 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

■論述式レポート　評価基準

① 問われていることを理解し、求められていることに応えている。即ち、レポートを読めば、逆に問題がわかるようなレポートになっている。
② 教科書などの丸写しではなく、納得したうえで自分の言葉でまとめている。
③ 要点を、簡潔に、読み手にもわかるようにまとめている。
④ 学び方がわからないと思われる場合は、再提出を求める。助言を参考に書き改めて、再提出したものを評価する。

科目修了試験

■評価基準

① レポートをまとめる中で学んだ知識が、身についている。ただし、年代や細かい数字などを暗記する必要はない。
② 教科書などから学んだ知識が感じられる答案であること。一般常識や、仕事上で得た知識だけでは不十分なので注意する。
③ 文字数が不足する場合は、学んだ他のことと関連させて述べるとよい。